

長坂ふれあいの
まちづくり協議会
&
神戸学院大学
ボランティア
活動支援室

地域と大学をつなぐ防災情報誌

VOL.15

2024
winter

いっせーのせ

発行

能登支援
レポート

この人に
会いたい！
NO.07

防災訓練の
お知らせ

大学祭
レポート

この人に会いたい！

写真1：職場の仲間たちと笑顔の
ポーズ

2：子どもたちの交流の場

3：つどいの場カウンター

4：地域に向けたイベントを発信

コープデイズ神戸西 副店長

今村 純江 さん

07

今回は、コープデイズ神戸西副店長の今村純江さんにお話を伺いました。

コープデイズ神戸西は2021年11月のリニューアルを機に「つどい場」が誕生しました。つどい場は、お買い物後の休憩や親子での時間、地域活動のグループやサークルでの交流で利用できる複数の施設で構成されています。なかでも1階のつどい場カウンターと2階のこどもの森に並べられている本は全て組合員さんからの寄付であり、借りることも可能です。今村さんは地域のつどい場を通して地域でいつまでも安心して暮らし続けられるようにと考えておられます。地域に住む学生に向けて、大学だけで



なく地域の方々と関わりを持ち、様々なチャレンジをする大切さを知ってほしいとおっしゃっていました。

また防災に関しては、今村さんの家族は阪神・淡路大震災を経験されており、電気やガス、水道が止まり大変な状況であったとおっしゃっています。まさか関西圏でこれほど大きな地震が起こるとは思ってもみなかったそうです。いつ何が起こっても対応できるように、日頃から備蓄をしておくことの必要性を訴えておられました。

(学生記者：心理学部 2年 林 里嬢・大島 有未)

令和6年能登半島地震 神戸学院大学生ボランティア

2024年1月1日に発生した能登半島地震は、石川県輪島市等で最大震度7を観測し、甚大な被害をもたらしました。神戸学院大学は、2月に教職員による現地視察を実施し、活動計画を立案、11月末時点で、計6回にわたり学生を能登半島に送り出しています。直近では、9月21日からの奥能登豪雨は地震による被災地を襲い「複合災害」をもたらしました。復旧、復興の最中であった被災者の「心を折る」出来事としてニュースで報じられましたが、被災地から要請を受け、10月に2回の緊急支援を実施しました。今号は、活動写真を通じて、現地の様子や学生ボランティアの頑張る姿をお伝えします。



能登MAP



第1・2クール 活動場所 A・B

日程：第1クール3/11, 12 / 第2クール3/13, 14

参加学生数：計16名（引率 計4名）

<被災家屋の片づけ>七尾市災害ボランティアセンターの仲介で被災家屋の片づけなどを行いました。



能登半島地震
1月1日

2月

3月

5月

6月

教職員先遣隊

被災地応援物産展
(ノエビアスタジアム)



第3クール 活動場所 D・E

日程：6/28~30 参加学生数：8名（引率2名）

<珠洲市の農業生産法人で活動>

神戸で行った「被災地応援物産展」で販売したお店の視察（穴水町のお菓子工房、能登町の500年続く米飴の商店）、珠洲市の被災された農業生産法人で小豆の選別作業。

ボランティアに参加した学生の声

実際に被害状況を自分の目で見ることで被災地が直面している困難を身に染みて感じた。

震災直後はみんなが関心を持っていても、次第に報道されなくなると現地の現状がわかりづらい。今回の活動でまだまだやらなければならないことが山積みだと分かった。

想像以上の被害に遭っていた。初めての経験だったが、この災害で元の状態に戻すのに4~5年かかり、想像以上の損害に驚いた。

第4クール 活動場所 C・D・F

日程：9/9～12

参加学生数：10名（引率2名）

＜被災者の健康体操&茶話会を実施＞
被災家屋の大量の瓦の廃棄作業、小豆の選別作業（6月から継続）、イベントNPOの音響、照明設備の清掃、被災者を対象とした健康体操&茶話会（本学主催）と非常にバラエティ豊かな活動ができました。



9月

能登半島豪雨
9月21～23日

10月

11月

被災地応援物産展
（大学祭）

第5・6クール 活動場所 D・F



日程：第5クール 10/11～13

第6クール 10/18～20

参加学生数：計17名（引率 計3名）

＜9月の豪雨で、学生ボランティアを緊急募集＞

夏休みの活動が終了し、成果を吟味しながら2024年度後期の活動をじっくり検討したいと考えていました。そこに、9月21日からの豪雨が能登半島を襲い、復旧、復興をめざす被災者にさらなる被害をもたらしました。

第5クールは水害でダメージを受けた田んぼの稲刈り作業。泥が入ったり、水害で稲穂が倒れてしまったりで、稲刈りを断念する農家もあるとのことでした。

第6クールは、バラエティに富んだ活動となりました。一人暮らしの被災家屋の片づけ、震災後放置されたビニールハウスの草刈り、子どもの森の整備活動でした。

子どもの森は「ケロンの小さな森」という名称で、小学校の校長先生が退職後、山を買取り、手作りで子どもたちの自然体験の拠点を2014年に開設されたものです。地震でガケ崩れや地割れ、倒木等の被害を受け、しばらく休止せざるを得ない状況でしたが、子ども達やボランティアの手で復旧活動を続けておられます。

以上、執筆時点（11月）までの能登半島支援の報告とさせていただきます。11月には大学祭があり、そこでも被災地応援物産展を開催しました。本誌4頁で報告しております。能登半島の復旧、復興にはまだまだ時間がかかります。本学では、これまでの経験を生かしながら、被災地応援活動を継続していきたいと考えています。

恒例の
地域ぐるみ
防災訓練に
ご参加下さい！

長坂校区 総合防災訓練 開催のお知らせ

スタッフとして
神戸学院大生、
ジュニアチーム
(長坂小学校)
多数参加予定！

2025年 2月 23日(日)

[時間] 10:00~12:00

※受付は9:30から学校ピロティにて

[会場] 神戸市立長坂小学校

※雨天のときは体育館等屋内で行います

訓練内容

- 1.避難・救出訓練 煙からの避難方法
ジャッキアップで救出法等
- 2.消火訓練 消火器取扱法、放水訓練
- 3.救急救命訓練 AEDを用いた心肺蘇
生訓練等
- 4.パネル展示 被災地での神戸学院大
ボランティア活動等紹介
- 5.炊出し訓練 豚汁炊出しと試食
- 6.神戸市消防音楽隊演奏

主催：長坂ふれあいのまちづくり協議会
長坂校区防災福祉コミュニティ

昨年の様子をHP
で確認できます



11/1~11/4に、両キャンパスで大学祭が開催されました。ボランティア活動支援室学生スタッフ災害班は「被災地応援物産展」を実施、天候に左右される日もありましたが無事終わることができました。宮城県石巻市のB級グルメ「石巻焼きそば」など東北、熊本地方の物産品に加え、能登半島地震で被災した能登地方の商品を販売しました。能登名物の「おだまき」(宝達志水町)、被災地復興を願って作られた「がんばろうクッキー」(穴水町)など能登地方の商品を多数取り寄せ、計14種類の物産品を完売することができました。大学祭を通じて、買うこと、食べることで、距離的には遠く離れた被災地のことを思う機会を多くの方々に提供できたと思います。

学生記者：現代社会学部2年 久保田一平

大学祭 レポート



いっせーのせ！



いっせーのせ
VOL.15

2024年12月1日発行

防災情報誌「いっせーのせ」は
長坂ふれあいのまちづくり協議会と
神戸学院大学ボランティア活動支援室が
年4回発行する情報誌です。
学生が記者となり、地域のフレッシュな
情報を発信していきます。

Publisher

長坂ふれあいのまちづくり協議会
神戸学院大学ボランティア活動支援室

Contact

神戸学院大学 ボランティア活動支援室
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
TEL:078-974-1551 (大学代表)
E-mail: kgu-vc@j.kobegakuin.ac.jp